

平成24年度 東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業 選定取組一覧

【専修学校関係事業】

専門人材育成コース等の課開発・実証・開設

No.	事業実施県	代表法人名	学校名	分野	事業名
1	岩手県	学校法人 山野学苑	山野美容専門学校	介護 訪問美容・理容業・美容業	寝たきり老人宅・仮設住宅等に訪問美容を行うための人材育成
2	岩手県	学校法人 龍澤学園	専門学校盛岡カレッジオブビジネス	食・農林水産業、観光	地域資源を生かした観光振興を担う6次産業人材育成事業
3			盛岡情報ビジネス専門学校	IT(スマホ・アプリ)	スマートフォンアプリケーション開発技術者養成プロジェクト
4			盛岡医療福祉専門学校	医療情報事務	被災地医科医療従事者にニーズの高い医療クラーク育成事業
5	宮城県	学校法人 三橋学園	船橋情報ビジネス専門学校	医療IT技術	地域医療連携を担う医療IT技術者育成カリキュラムの開発と実施
6	宮城県	学校法人 埼玉福祉学園	埼玉ベルエポック製菓専門学校	食・農林水産業	地元産食材による郷土料理で復興に貢献する調理人材の育成
7			埼玉福祉専門学校	介護・医療	被災地で医療との連携ケアを実践できる介護人材育成プログラム
8	宮城県	学校法人 滋慶文化学園	仙台医健専門学校	キャリア教育	専門学校版「就業力」強化プログラムの試行・開発・普及
9			福岡医健専門学校	医療情報事務	被災地の地域医療連携に貢献できるコメディカル人材の育成
10			仙台コミュニケーションアート専門学校	食・農林水産業	被災地における塩害等からの植生回復・土壌改良技術の人材育成
11	宮城県	学校法人 誠和学院	日本工科専門学校	再生可能エネルギー (スマートグリッド)	新職能人材・スマートグリッドトータルプランナー育成プログラム
12	宮城県	学校法人 菅原学園	仙台保健福祉専門学校	介護・医療情報	被災地の包括ケアを担う人材育成プログラムの開発
13	宮城県	学校法人 日本コンピュータ学園	東北保健医療専門学校	医療情報事務	宮城県の医療を安定かつ継続的に行うための医療クラーク人材育成
14			東北電子専門学校	自動車組込み	東北の復興を担う自動車組込みエンジニア育成支援プロジェクト
15	福島県	公益社団法人 東京都専修学校各種学校協会		e-ラーニング	次世代通信教育基盤になるソーシャルメディア活用教育モデル構築
16	福島県	学校法人 九州総合学院	九州工科自動車専門学校	再生可能エネルギー (電気自動車)	被災地を中心とするEV車等の普及加速に対応した整備人材育成
17	福島県	学校法人 郡山学院	ケイセンビジネス公務員カレッジ	介護	社会福祉経理の出来る介護職員人材育成プロジェクト
18	福島県	学校法人 東京生命科学学園	東京バイオテクノロジー専門学校	放射線	新しい食品放射線基準を正しく理解できる放射線技術者の養成
19	福島県	学校法人 秋葉学園	成田国際福祉専門学校	介護	被災地ニーズに対応した介護人材育成プログラムの開発と実施
20	福島県	社団法人 福島県専修学校各種学校連合会		医療情報事務	福島県の医師不足を補うための医師事務作業補助者育成事業
21	福島県	学校法人 永和学園	日本調理技術専門学校	食・農業	ふくしま食の安全・安心に貢献できる人材の育成
22	福島県	学校法人 コンピュータ総合学園	神戸電子専門学校	放射線工学	被災地復興に関するソーシャルアプリ開発エンジニア育成
23	福島県	学校法人 新潟総合学院	国際情報工科大学校	放射線工学	放射線の知識を持つ測定技術者の育成及び計測支援事業
24				IT(クラウド・情報端末)	再生可能エネルギー・スマートグリッド分野技術者育成事業
25	3県	学校法人 電子学園	日本電子専門学校	就業力向上(医療・ビジネス等)	情報デザインスキル養成を前提としたスマートデバイスアプリ開発スキル教育プログラムの構築
26	3県	社団法人 大阪府専修学校各種学校連合会		就業力向上(医療・ビジネス等)	被災地学生の就業力向上を入学前から支援する教育システムの構築

専修学校等の就職支援体制の充実強化

No.	事業実施県	代表法人名	学校名	分野	事業名
27	3県	学校法人 新潟総合学院	国際アート・デザイン専門学校	就職支援	「福島・宮城・岩手」復興－総合就職支援事業

【専門高校関係事業】

専門人材育成コース等の課開発・実証・開設

No.	事業実施県	事業実施者	事業名
1	岩手県	岩手県	被災した港湾の復旧・復興を担う専門人材育成に関する取組
2	宮城県	宮城県	みやぎの復興を担う専門人材育成支援事業

全国の教育機関、産業界等の力を結集して被災地に復興を担う専門人材を育成 ～東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業～

震災により大きく変化した被災地の人材ニーズに対応し、復興の即戦力となる専門人材の育成及び地元への定着を図るための推進体制を整備し、被災地の専修学校等を中心に、全国の地域の学校・企業・関係団体の協力を得ながら専門人材を育成する取組を支援。



スマートフォンアプリケーション開発技術者養成
東北地方のモバイル端末(Android等)のアプリケーションソフトウェア開発を行うAndroid技術者を育成。



自動車組み込み人材育成
ハイブリッド車・電気自動車等の整備技術や電子制御技術の高度化に対応する自動車組み込みのエンジニア育成

岩手県

宮古市

陸前高田市

地域の医療クランク育成

宮古市等沿岸地域を中心に電子カルテ化や地域医療情報の集約化に対応できる医療情報事務分野の人材を育成

地域資源を活かした観光振興を担う6次産業化人材育成

地域資源を活用した6次産業化による農業・漁業、観光人材を育成

被災した港湾の復旧・復興を担う専門人材の育成 (専門高校)

土壌改良の専門家育成

「地球のお医者さんプロジェクト」陸前高田市を中心に塩害等による土壌汚染に対する植生回復技術や土壌改良技術を行う人材育成



介護人材育成

失業者・若年未就業者等を対象

医療クランク人材育成

被災地における包括ケア実現を目指す専門人材育成

岩沼市を中心とした沿岸地域において、医療・介護・福祉のネットワークを構築し、包括ケアを担う介護福祉士、コーディネーター等を育成



介護人材育成

再生可能エネルギー・スマートグリッド分野の技術者育成

太陽光発電や風力発電等に対応した電気関係技術者や、スマートシティにおける電気自動車のテレマティクス活用等に必要となるIT技術者を育成



ふくしま食の安全・安心に貢献する専門人材育成

放射線等の知識を有する農業従事者や料理人・パティシエ等が地元食材を活用した6次産業化の実現を目指した食産業の復興を担う専門人材を育成



みやぎの復興を担う専門高校人材育成支援事業

震災後の専門人材のニーズの変化をとらえ、ふるさと宮城の再生とさらなる発展を担える人材を育成する。

- ・農業分野: 6次産業、農業・林業等の技術習得等
- ・商業分野: 地元企業・専門学校との連携によるスキル向上等
- ・水産分野: 他県の関連施設と連携した実習等
- ・工業分野: ものづくり技術技能の習得等

福島県

岩沼市

新潟県

放射線測定技術者の育成と計測支援の展開

放射線及び計測機器類の操作等の知識を有する技術者育成と地域における計測・情報公開、放射線知識等の啓発活動



栃木県

群馬県

東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業

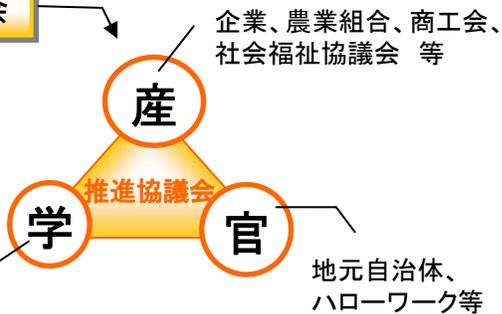
(新規)
24年度予算額:450百万円
(参考)23年度3次補正予算額:503百万円

事業趣旨

震災により大きく変化した被災地の人材ニーズに対応し、復旧・復興の即戦力となる専門人材や次代を担う専門人材の育成及び地元への定着を図るための推進体制を整備し、被災地以外の教育機関等による支援も含め、専門人材育成コース等の開発・実証・開設や専修学校等の就職支援体制の充実強化を図る。

実施主体:推進協議会

産学官による推進協議会を設置し、専修学校や専門高校等を拠点に、
①被災地の人材ニーズの把握や
②実施機関の推進体制の構築を行う。
*コーディネーターを配置



【短期的課題】

○ 震災の影響による人材需給のミスマッチ

【中長期的課題】

○ 被災地の人材育成による本格雇用の創出につなげ、復興を強気に推進していくため、震災による人材ニーズの大きな変化に的確に対応した体制整備が緊急かつ重要課題

新産業創出や地元産業の復興に必要な職業能力の向上、被災により失業した者の学び直しなどにより、被災地の雇用の実情を踏まえた専門人材を育成

【専門人材育成コース等の開発・実証・開設】

① 専修学校等における中長期的な人材育成コースの開発・実証

分野

再生可能エネルギー(建築・土木・電気、電気自動車、スマートグリッド等)、食・農林水産、観光など

- 被災地でニーズが高い分野において、産業界の連携により、産業界の高度化などに資する中長期的な教育カリキュラムの開発・実証を行う。



スマートハウスと電気自動車



② 専門高校における人材育成プログラムの開発

- 被災地の産業・資源を生かした実践的な教育内容を研究開発。産業界の意見を踏まえた学習指導要領にとられない教育課程の編成、生徒の本格的な現場実習・企業実習、大学や産業界との共同研究等の推進方策を導入。

③ 専修学校等における短期専門人材育成コースの開設支援

分野 介護、医療情報事務、土木・建築・電気など

- 被災地で24年度以降もニーズが高く供給が不足する福祉等分野の教育環境支援を継続実施。被災地以外の専門学校や病院等からの教員派遣、拠点校を中心に被災地内外の複数校をコーディネートする人材配置等を支援。



水産技術者による実践的指導



【専修学校等の就職支援体制の充実強化】

被災地(岩手県、福島県、宮城県)の就職支援を行うため、産学の連携による

- ①合同就職セミナーの開催、②就職支援コーディネーターの配置

【参考:提言等】

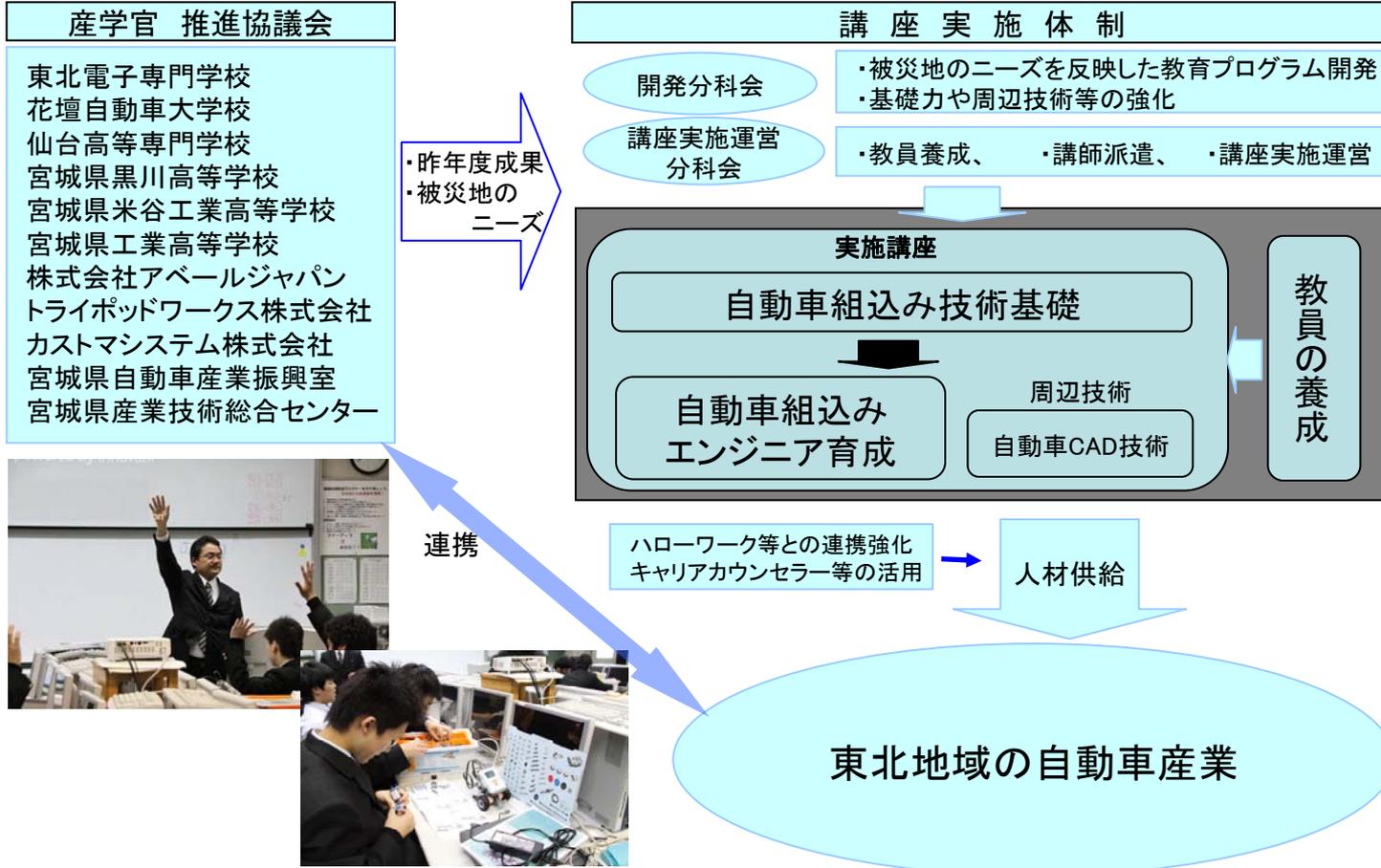
「東日本大震災からの復興の基本方針」(23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)
5復興施策(2)地域における暮らし再生(4)復興を支える人材の育成 他

東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業(自動車組込み系分野例)

趣旨・目的

東北地方は、自動車産業の集積が進み国内第3の拠点として、その役割を期待されている。本事業は、昨年度事業成果を踏まえ、被災地のニーズに対応した自動車組込み産業における復興人材育成のための講座実施及び教員養成を行う。実施にあたり、産・学・官による推進協議会を組織し、自動車組込みエンジニア育成講座を行なうとともに昨年度事業で課題として挙げられた基礎力や周辺技術等の教育プログラムを整備し、裾野の広い東北地方の復興を担う自動車組込み産業人材育成を支援する。講座の実施運営については、他地域にある企業、専門学校等に協力を要請し、講座の円滑な運営を図る。

プロジェクト全体像



《協力専門学校、企業、団体》

- 日本電子専門学校
- 日本工学院専門学校
- 浜松情報専門学校
- 名古屋工学院専門学校
- 大阪工業技術専門学校
- 株式会社両毛システムズ
- 株式会社ヴィッツ
- 株式会社エスワイシステム
- キャリア技研株式会社
- 株式会社アフレル
- イーソル株式会社
- 一般社団法人 組込みシステム技術協会
- 一般社団法人 全国専門学校情報教育協会 ほか



実施要項

- 被災地のニーズへの対応
- 教員の養成
- 基礎力や周辺技術等の強化
- 人材育成講座の実施、検証

東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業

(地域資源を生かした観光振興を担う6次産業人材育成の例)

【事業概要】

本事業では、地域資源を生かした観光振興を担う6次産業人材を、地域観光資源の一つである郷土料理・地元特産フードメニューを中心とした教育により、食農観光ビジネス人材として育成し、あわせて震災被災地の経験を語り継ぎながら復興を担う人材育成に資することも目的にしている。今年度は食品製造、外食、小売、観光産業までを総合的に行う「6次産業人材を育成する教育システム開発」と、郷土料理・地元特産フードメニューの商品開発及び販売を目指す。

【教育プログラムについて】

『食と観光』の連携から地域活性化を目指し、①地元の郷土料理・地元特産品を生かした「地元特産フードメニュー製作プログラム」と、②震災・津波・防災に関する「語り部育成プログラム」の2つの教育プログラム開発と教材作成を行い、③実証講座を行う。

また、④実際に他の大地震被災地であった兵庫県神戸市及び淡路島や新潟県山古志村への調査・研究・交流から震災後の観光振興成功事例を学ぶ。

さらに⑤地元特産フードメニューを考案する「地元特産フードメニュープロデュースプログラム実証講座」を岩手県釜石市及び盛岡市等で行い、教育プログラムの実証とともに人材育成を図る。

郷土料理、特産品を生かした
「地元特産フードメニュー製作プログラム」
＜対象地域＞岩手県中心

震災・津波・防災に関する
「語り部教育プログラム」
＜対象地域＞岩手県中心

調査・研究・交流研修
＜訪問先＞兵庫県、
新潟県

推進協議会
調査・研究
文科会

「地元特産フードメニュープロデュースプログラム」
＜対象地域＞岩手県盛岡市等
※地元特産品を生かした新しいフードメニューの
商品開発や調理、観光産業までを総合的
に行う6次産業事業、人材育成を目指す

カリキュラム開発委・実証
テキスト教材開発・実施



《協力専門学校、企業、団体等》

- ・岩手県商工労働観光部
- ・釜石市産業振興部
- ・両石町復興促進協議会
- ・学校法人有坂中央学園
- ・学校法人浦山学園
- ほか農業協同組合中央会、商工会議所等